



持続可能な 未来を拓く 工業炉業界

一般社団法人日本工業炉協会では、8つのゴールを重点目標と定め、それぞれに優先課題を設けて具体的な取り組みを進めています。



すべての人に健康と福祉を

■労働安全衛生法への取り組み

有害化学物質のマネジメント・削減に向けて、石綿対策や金属アーク溶接作業規制に関する勉強会を実施し情報発信しています。新型コロナウイルスへの対応状況については、会員企業にアンケートを実施し、結果を共有化しました。



質の高い教育をみんなに

■業界の人材の知識、技能のレベルアップ

工業炉業界の次代を担う人材育成のため、毎年、専門基礎講座を開催しております。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため休講しましたが、令和3年度はWebと対面講義を併用して実施します。さらに、専門中級講座を新設し令和3年度中に誘導加熱の研修会を開催する予定です。



ジェンダー平等を実現しよう

■ダイバーシティ推進への取り組み

令和2年度は、高齢者雇用推進セミナー (Web開催) の基調講演において、ダイバーシティ経営により女性が働きやすい職場環境づくりを実践している会員企業の、具体的な取り組み事例を紹介しました。



エネルギーをみんなに そしてクリーンに

■省エネルギーへの着実な取り組み

高効率型 (低炭素) 工業炉の普及を推進しています。高性能工業炉 (リジェネレーターシステム) の普及促進を毎期の事業計画に組み込み、着実に実績を積み重ねています。



働きがいも経済成長も

■働き方改革への取り組み

平成29年に「働き方改革の指針」を制定し、長時間労働の是正、多様性を追求した人材活用、新技術の積極的な受け入れ等に取り組んでいます。令和2年度には、「高齢者雇用推進ガイドライン」を策定して、高齢社員の知見の活用や技能の円滑な継承につなげていく指針を示し、高齢者雇用推進セミナーも開催しました。



産業と技術革新の基盤をつくろう

■工業加熱プロセスにおけるCO₂削減 (技術革新) への取り組み

技術企画委員会をはじめとした各種の委員会等において勉強会を開催し、新技術活用につながる情報収集を進めています。また、機関誌「工業加熱」によって、技術情報を積極的に発信しています。



つくる責任 つかう責任

■工業炉標準化への取り組み

当協会はISO/TC244国際幹事を務めており、国際規格の発行に取り組んでいます。令和2年は、JIS B 8415を国際規格に合わせて改定しWeb説明会を実施するとともに、安全計装のリスクアセスメントガイドを発行しました。



気候変動に具体的な対策を

■省エネルギーによる脱炭素への取り組み

高効率型 (低炭素) 工業炉の推進等、省エネや環境負荷低減につながる様々な活動を実施しています。